

2023年3月2日
企業会計基準委員会
国際会計基準審議会

企業会計基準委員会と国際会計基準審議会の代表者が東京で二者間会合を開催

企業会計基準委員会（ASBJ）と国際会計基準審議会（IASB）の代表者は、2023年2月27日に、東京で二者間会合を開催しました。

今回の会合において、ASBJとIASBの代表者は、お互いの活動の最新情報を提供するとともに、国際的な税制改革（第2の柱モデルルール）、企業結合 — 開示、のれん及び減損、基本財務諸表に関する論点等について議論を行いました。

ASBJとIASBは、引き続き、意見交換を続けていく予定です。

川西安喜 ASBJ 委員長は次のように述べています。

「ASBJを代表し、IASBの代表者の皆様、特にIASB副議長に就任されたリンダ・メゾン・ハッター氏を東京にお迎えでき嬉しく思います。今回の会合では、長年の課題に加えて喫緊の課題についても議論することができました。ASBJは、このような二者間会合は、双方の見解をよりよく理解する上で極めて有益であると考えています。ASBJは、このような会合を継続し、IFRS会計基準の開発に貢献することを期待しています。」

アンドレアス・バーコウ IASB 議長は次のように述べています。

「ASBJの川西委員長及び関係者の皆様には、IASB及びIFRS会計基準への長年の貢献と支援に関して感謝いたします。今回のような意見交換は、それぞれの審議会による互いの主張に対する理解を高めることに役立つものであり、双方の審議会にとって有益なものとなります。我々がこれまでにしっかりと築いてきた信頼関係がさらに深められていくことを期待しています。」

企業会計基準委員会（ASBJ）について

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2001年7月に公益財団法人財務会計基準機構（FASF）の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により日本において一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなります。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発しています。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献しています。ASBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト（<https://www.asb.or.jp/jp/>）をご参照ください。

IFRS 財団について

IFRS 財団は、公益のために、高品質で理解可能な、執行可能な国際的に認められた会計基準及びサステナビリティ開示基準を開発するために設立された非営利組織です。我々の基準は、国際会計基準審議会（IASB）と国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の2つの基準設定審議会によって開発されています。IFRS 財団の詳細については、<https://www.ifrs.org/>をご参照ください。

以 上